

佐賀県感染症発生動向調査速報

平成16年第41週 平成16年10月4日(月)～平成16年10月10日(日)

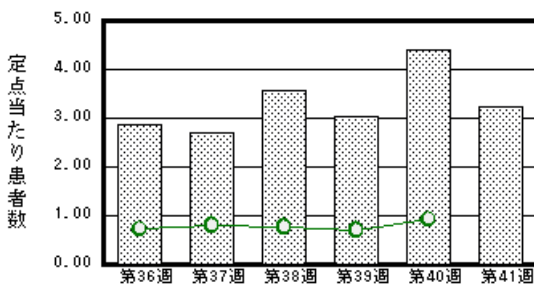
<http://www.kansen.pref.saga.jp>

佐賀県感染症情報センター

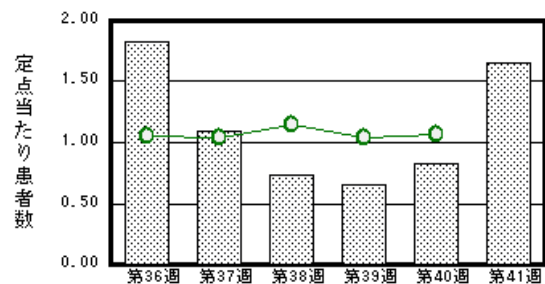
注目疾患の動向

- 【報告数の多い疾患】 流行性耳下腺炎(74名) 手足口病(38名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発疹(24名) 感染性胃腸炎(19名)
- 【流行性耳下腺炎】患者報告数が減少しました(101名 74名)。
- 【腸管出血性大腸菌感染症】佐賀中部保健所管内で2名(O157) 伊万里保健所管内で1名(型別不明)の届出がありました。県内では6月以降発生が続いています。手洗いや食品の温度管理、十分な加熱等一般的な食中毒予防に心がけましょう
詳しくは佐賀県感染症情報センターホームページをご覧ください。
<http://www.kansen.pref.saga.jp/kakotopics/kakotopics/o157.0410/157.html>

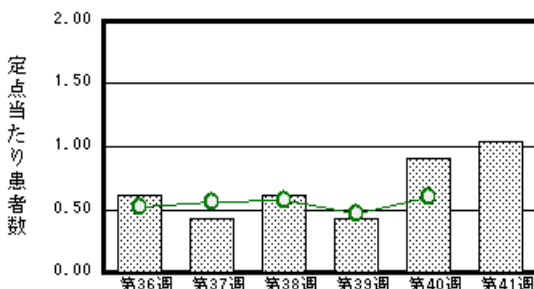
流行性耳下腺炎



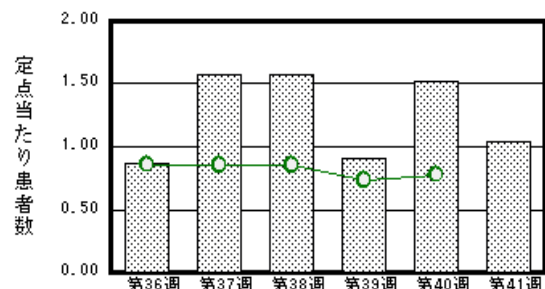
手足口病



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



突発性発疹



棒グラフは佐賀県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては佐賀県感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.kansen.pref.saga.jp>

全国版感染症週報 (DWR) 2004年第39週号 (9月20日～9月26日) 要点

・ 発生動向総覧	< 第39週 > マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した / その他最新動向
・ 注目すべき感染症	< 腸管出血性大腸菌感染症 > 2004年第39週の現段階での報告数は67例であった。1週間当たりの報告数は、第36週からは4週連続で減少している< 急性脳炎 > 急性脳炎としては、2003年11月5日から8月末までに58例の報告があった
・ 病原体情報	インフルエンザウイルス2004/05シーズンと2003/04シーズンのまとめ / 無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス2004年 / 流行性角結膜炎患者から分離されているウイルス2004年
・ 速報	9月におけるAH3型インフルエンザウイルスの分離 - 大阪府箕面市 / 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の一部を改正する政令及び省令」の概要 - 獣医師の届出対象の追加など
・ 海外感染症情報	タイでのトリインフルエンザ / チャドでのコレラ流行 / スーダンでのE型肝炎流行
・ 感染症の話	< 今週はお休みです >

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

佐賀県感染症発生動向調査速報

http://www.kansen.pref.saga.jp

佐賀県感染症情報センター

全数届出の感染症 (佐賀県)

疾病名	腸管出血性大腸菌感染症 (O157) (三類感染症)		腸管出血性大腸菌感染症 (型別不明) (三類感染症)
患者 (住所地)	小学生低学年女児 (佐賀市)	70歳代男性 (神埼郡)	
無症状病原体保有者	0名	0名	1名
感染原因・感染経路	不明	不明	不明
平成16年届出累計	18件40名 (今週3件3名)		
平成15年	同 期	21件36名	
	届出累計	25件42名	

佐賀県感染症発生動向調査

定点報告 (五類感染症 (週報分))

平成16年第41週

平成16年10月4日 (月) ~ 平成16年10月10日 (日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	佐賀中部 保健所	鳥栖 保健所	唐津 保健所	伊万里 保健所	杵藤 保健所	計	前週	全国 (第40週)	
インフルエンザ (39)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)								13 0.00	
小児科 (23)	RSウイルス 感染症								46	
	咽頭結膜熱	1 0.13			2 0.67		3 0.13	2 0.09	499 0.16	
	A群溶血性レン サ球菌咽頭炎	9 1.13	6 2.00	2 0.50	5 1.67	2 0.40	24 1.04	21 0.91	1820 0.60	
	感染性胃腸炎	5 0.63	9 3.00	2 0.50		3 0.60	19 0.83	28 1.22	7686 2.53	
	水痘	1 0.13			6 1.50		2 0.40	9 0.39	1428 0.47	
	手足口病	16 2.00	8 2.67	2 0.50	3 1.00	9 1.80	38 1.65	19 0.83	3259 1.07	
	伝染性紅斑			1 0.33	2 0.50		3 0.13	6 0.26	310 0.10	
	突発性発しん	4 0.50	5 1.67	5 1.25	7 2.33	3 0.60	24 1.04	35 1.52	2372 0.78	
	百日咳								43 0.01	
	風しん								31 0.01	
	ヘルパンギーナ					1 0.33		1 0.04	1 0.04	999 0.33
	麻しん (成人 麻しんを除く)									10 0.00
	流行性耳下腺炎	20 2.50	13 4.33	20 5.00	8 2.67	13 2.60	74 3.22	101 4.39	2784 0.92	
眼科 (4)	急性出血性結膜炎								24 0.04	
	流行性角結膜炎	2 1.00					2 0.50	1 0.25	474 0.75	
基幹 (6)	細菌性髄膜炎								17 0.04	
	無菌性髄膜炎								31 0.07	
	マイコプラズマ肺炎	1 0.50					1 0.17	1 0.17	109 0.23	
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)								4 0.01	
	成人麻しん								1 0.00	

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点。

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は39週分(患者報告数)である。

佐賀県感染症発生動向調査 (定点報告 :五類感染症)

平成16年第41週 平成16年10月4日(月)~平成16年10月10日(日)

インフルエンザ 定点	インフル エンザ (高病原 性鳥イン フルエン ザを除く)	小児科 定点	RSV ウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルパ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科 基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプ ラズマ肺 炎	クラミジア 肺炎(オ ウム病を 除く)	成人麻し ん	
6ヶ月未満		6ヶ月未満								2						6ヶ月未満								
12ヶ月未満		12ヶ月未満				4		3		16						12ヶ月未満								
1歳		1歳				3	3	14		6			1		5	1歳								
2歳		2歳		1	1	3	1	7							8	2歳								
3歳		3歳				5	1	2	4						15	3歳								
4歳		4歳		2	7		2	6							18	4歳					1			
5歳		5歳				2	2	1	3	2					14	5歳								
6歳		6歳				2				1					6	6歳								
7歳		7歳				3				1					3	7歳								
8歳		8歳				2	1								4	8歳								
9歳		9歳														9歳								
10歳~14歳		10歳~14歳				2	2								1	10歳~14歳								
15歳~19歳		15歳~19歳					1									15歳~19歳								
20歳~29歳		20歳以上					2									20歳~29歳		1						
30歳~39歳																30歳~39歳		1						
40歳~49歳																40歳~49歳								
50歳~59歳																50歳~59歳								
60歳~69歳																60歳~69歳								
70歳~79歳																70歳以上								
80歳以上																								
合計		合計		3	24	19	9	38	3	24			1		74	合計		2				1		
前期計		前期計		2	21	28	4	19	6	35			1		101	前期計		1				1		
当期間/前	***	当期間/前	***	1.5	1.14	0.68	2.25	2	0.5	0.69	***	***	1	***	0.73	当期間/前	***	2	***	***	1	***	***	
増減数		増減数		1	3	-9	5	19	-3	-11					-27	増減数		1						

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき

